

第63期

年次報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

株主の皆さまへ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。
さて、第63期の事業概況についてご報告申し上げます。

当事業年度における日本経済は、一部の製造業で改善の兆しが見られたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い経済活動は大きく制限され、総じて厳しい状況となりました。また、世界経済におきましても感染症の収束見通しが立たないことから、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

当社を取り巻く経営環境についても、国内需要の低迷や原材料高、価格競争の激化等により、引き続き厳しい状況が続いております。そのような中、当社では、限定的ではあるものの新型コロナウイルス感染症の影響により受注量は減少しました。一方で、原材料価格の高騰や事業環境の低迷による厳しい経営環境のなかで、原価低減や生産効率の向上、業務の合理化を図り、利益の確保に取り組んでまいりました。その結果、当事業年度の売上高は11,343百万円(前事業年度比92.9%)となり、経常利益は480百万円(前事業年度比251.0%)、当期純利益は333百万円(前事業年度は当期純損失0百万円)となりました。

今後の景気回復は新型コロナウイルスのワクチン接種や変異ウイルスの状況等に左右され、異なる経済環境の悪化も想定されるなど先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

当社は引き続き新規市場への展開や既存取引先との関係強化、業務効率化に取り組み収益の拡大を目指すとともに、人材育成に注力し、社員一人ひとりの持続的成長と企業体質の強化に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましても、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ヤスハラケミカル株式会社
代表取締役社長

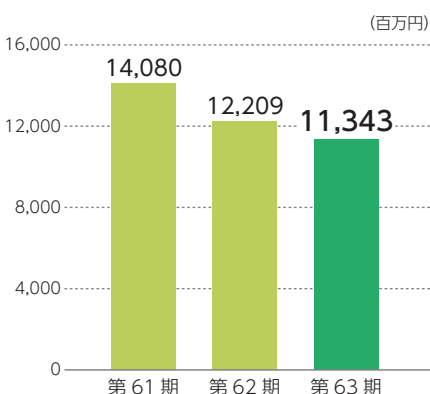
安原 稔二

財務ハイライト

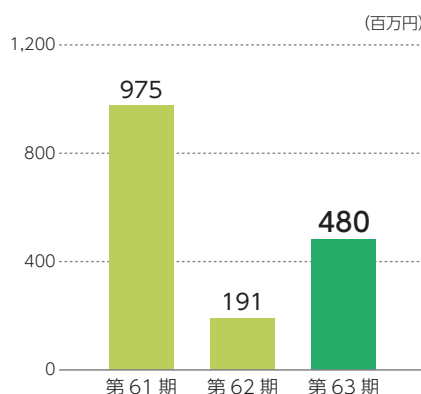
Financial Highlights

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

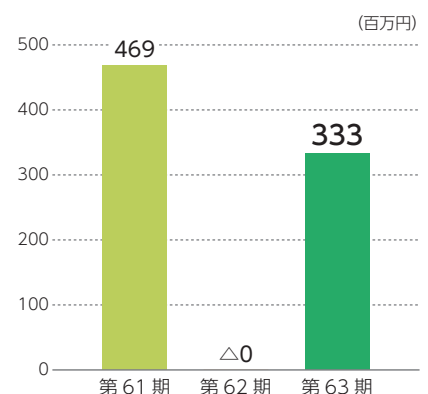
売上高



経常利益



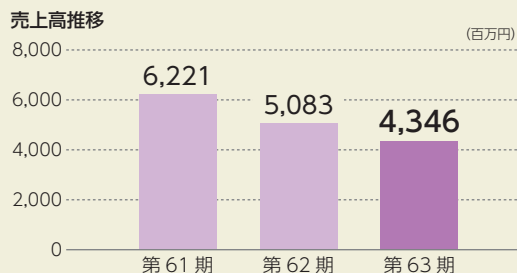
当期純利益又は当期純損失(△)



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

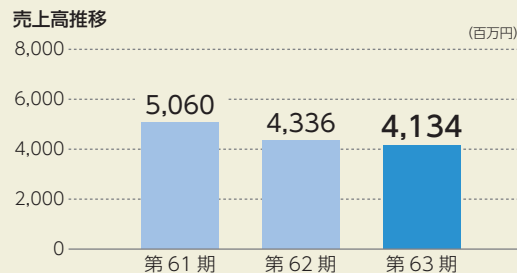
テルペン樹脂部門

自動車用品用途のテルペンフェノール樹脂及びテルペン樹脂に加え粘着ラベル用途の変性テルペン樹脂が低調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比85.5%と減収になりました。



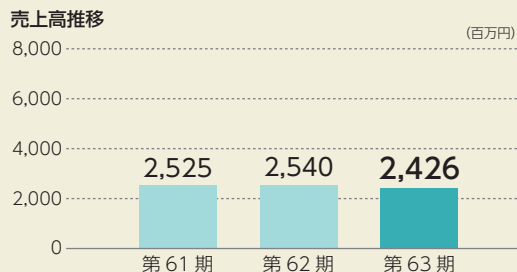
化成品部門

電子材料用途の溶剤が好調に推移した一方、塗料用途の化学品及び木工用途のワックスに加え香料分野が低調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比95.3%と減収になりました。



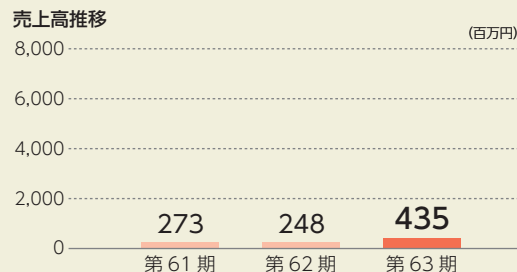
ホットメルト接着剤部門

食品用途の押出グレードが好調に推移した一方、自動車部品用途及び生活用品用途の接着剤が低調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比95.5%と減収になりました。



ラミネートフィルム部門

光沢化工紙用ラミネートフィルムにおける新規顧客の獲得により好調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比175.1%と増収になりました。



ハイライト

環境に配慮した製品を提供していきます

当社では基本理念「自然の恵みと科学技術を融合させる」に基づき、天然由来のテルペンを主原料として様々な製品開発をおこなってきました。

近年、環境への世界的な関心の高まりを受け、様々な分野で環境対応を意識した企業活動が行われています。当社でも、ホットメルト接着剤・溶剤・樹脂などそれぞれの分野で環境対応に関する情報収集を行ってまいりました。そして2020年1月より営業部門では、環境問題に熱心に取り組まれている取引先をリストアップし、環境配慮製品の提案に重点をおいた活動を開始しました。提案活動を進める中で「バイオマス原料を用いたホットメルト接着剤」に興味を示された大手飲料メーカーがあり、研究開発に取り組むこととなりました。

原料のバイオマス度を高めるにあたり、これまで使用したことがない原料も含め多数の天然由来原料を試験するところから開発は始まりました。研究部門の担当者も顧客先へ同行し、直接ご要望をお聞きする・技術的な説明を行うといった緻密かつ迅速なコミュニケーションを重ね、また、当社が永年蓄積してきたテルペン樹脂の知見やホットメルト設計技術を活かすことで、約半年という短期間で開発に至りました。接着力も向上し、バイオマス原料というだけでなく機能面でもより優れた製品を開発することができ、お客様に採用いただけたことを大変喜ばしく感じております。



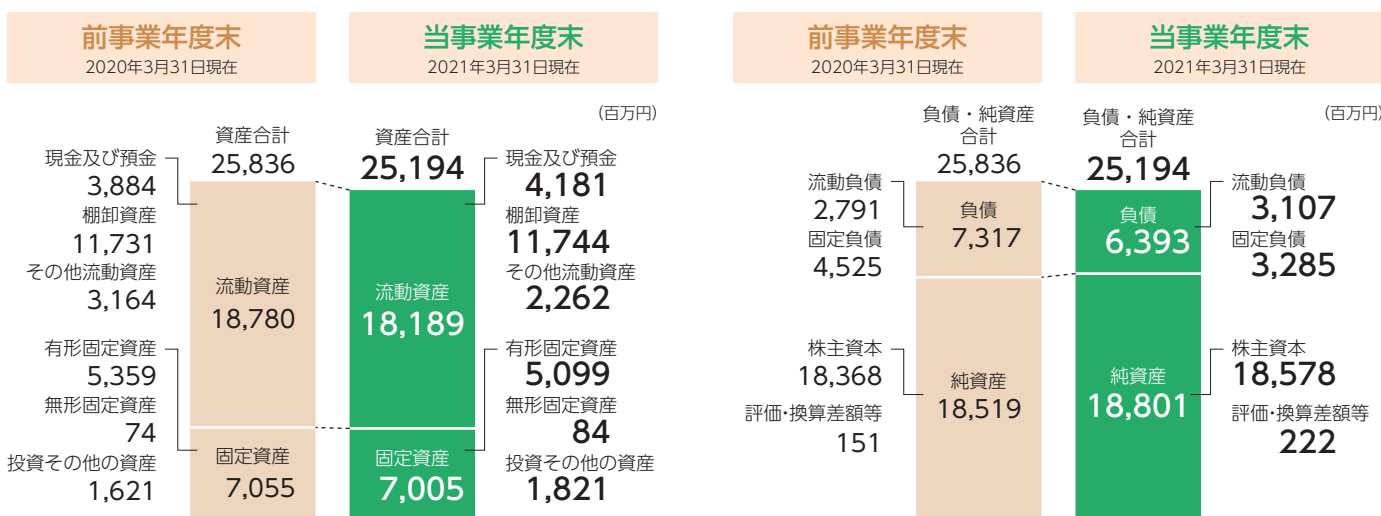
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

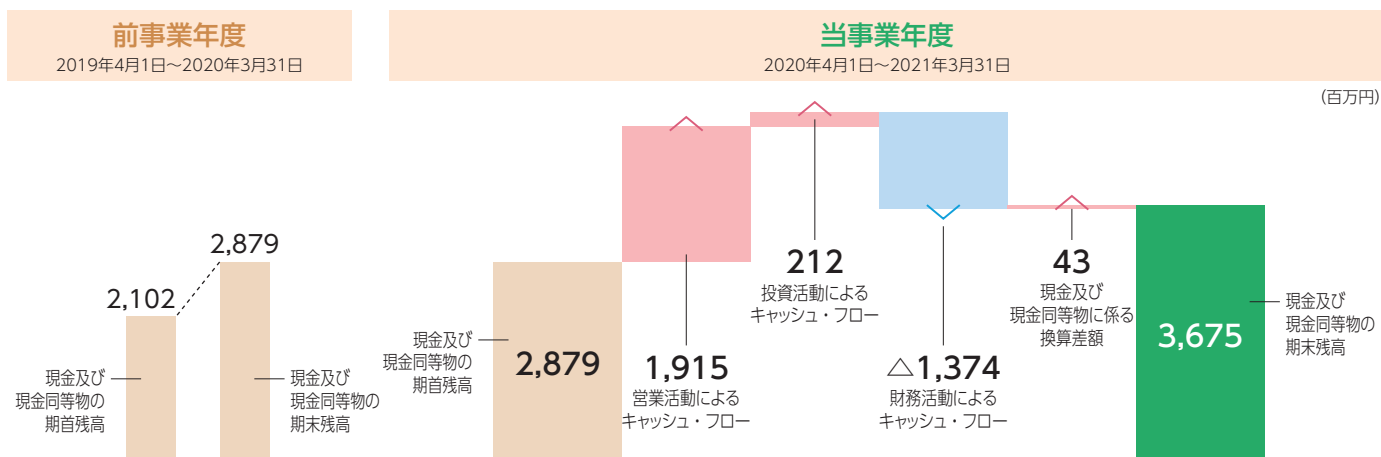
(百万円)

	前事業年度 2019年4月1日～2020年3月31日	当事業年度 2020年4月1日～2021年3月31日	前事業年度比
売上高	12,209	11,343	92.9 %
売上原価	10,135	9,277	91.5 %
売上総利益	2,073	2,065	99.6 %
販売費及び一般管理費	1,933	1,712	88.6 %
営業利益	139	353	252.4 %
経常利益	191	480	251.0 %
当期純利益又は当期純損失(△)	△0	333	—

貸借対照表



キャッシュ・フロー計算書



株式の状況 (2021年3月31日現在)

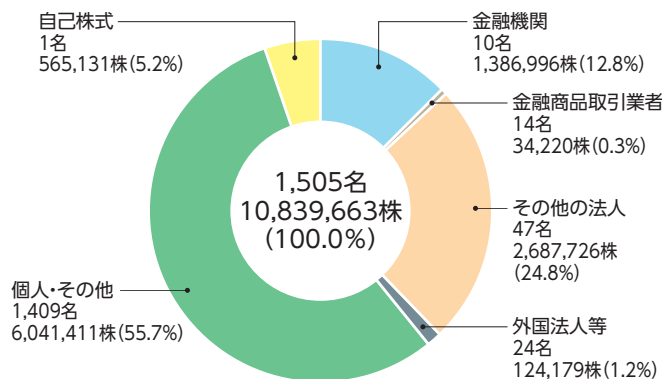
- 発行可能株式総数 22,000,000株
- 発行済株式の総数 10,839,663株
- 株主数(自己株式1名含む) 1,505名

●大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ワイエス興産株式会社	1,237	12.0
安原禎二	1,191	11.6
ヤスハラケミカル取引先持株会	871	8.5
敷田憲治	694	6.8
沖津妙子	521	5.1
株式会社中国銀行	511	5.0
有限会社マキ	403	3.9
有限会社宗江	373	3.6
榎本キヨコ	300	2.9
後藤一紀	245	2.4

(注) 1.当社は、自己株式を565,131株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

●所有者別株式保有比率



(注) ()内の数値は株式数の比率を表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
公告方法	日本経済新聞に掲載

会社の概況 (2021年3月31日現在)

商号	ヤスハラケミカル株式会社 YASUHARA CHEMICAL CO., LTD.
創業	1947年4月
設立	1959年2月24日
資本金	1,789,567,460円
従業員数	245名

主な事業内容

テルペン樹脂部門	テルペン系樹脂
化成部部門	合成香料原料、テルペン溶剤、ワックス
ホットメルト接着剤部門	ホットメルト接着剤
ラミネートフィルム部門	光沢ラミネートフィルム

営業所及び工場

本社	〒726-8632 広島県府中市高木町1080番地
東京事務所	〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目6番1号 三井住友海上テプコビル5階
大阪事務所	〒532-0003 大阪市淀川区宮原三丁目5番24号 新大阪第一生命ビルディング2階
研究所	〒721-0956 広島県福山市箕沖町117番
鶴飼工場	〒726-0002 広島県府中市鶴飼町800番111
福山工場	〒721-0956 広島県福山市箕沖町117番
総領工場	〒729-3702 広島県庄原市総領町亀谷1065番1
新居浜工場	〒792-0892 愛媛県新居浜市黒島一丁目7番7号

ホームページ <http://www.yschem.co.jp/>

役員 (2021年3月31日現在)

代表取締役社長	安原 禎二
常務取締役	沖津 弘之
取締役	敷田 憲治 経営企画部長
取締役	栗本 倫行 生産本部長
取締役(監査等委員・常勤)	中居 英尚
取締役(監査等委員)	前岡 良
取締役(監査等委員)	内林 誠之

(注) 取締役(監査等委員)前岡良氏及び内林誠之氏は、社外取締役であります。

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。